

「北信のシームレスながん医療を担う人材養成」



北信地域におけるがん医療の特徴

- 全国と比較し15年以上進んだ**少子高齢化社会**
- **診断から治療・終末期医療まで、全医療を居住地域で受ける**患者が多い
- **密接な連携**: 4県全てのがん拠点病院・医師会、がんプロ履修者が設立した患者会との連携

実績を活用し
本事業へ発展

- ・ AYA世代がん患者ケア実現
- ・ チーム医療実現のための多施設・多職種連携
- ・ 地域への人材の定着

次世代北信がんプロ：金沢大、信州大、富山大、福井大、金沢医大、長野県看護大

3期北信がんプロの成果



- 1) 正規課程充足率145%の達成
 - 2) がん関連資格取得者49名の輩出
 - 3) データベース事業による課題の抽出
- AYA世代がん患者のケア（精神的支援、二次発がん予防を含む）が特に必要

顕在化した北信地域の
人材養成課題

： 診断から治療・終末期医療まで質の高い医療を患者の居住地域でシームレスに提供する多職種チーム医療人材の養成

課題に対応する人材養成
コースを多職種対象に新設

各大学の強みを合わせた相互補完的教育コース
正規課程14コース、インテンシブ10コース

(がん予防・検診、病理診断、放射線・核医学治療、在宅緩和ケア等)
専門分野以外の最新情報も学修した人材を養成し
患者が必要とする医療を速やかに提供する体制を確立

テーマ①
医療現場の顕在化課題への対応

在宅終末期医療、放射線・核医学治療、病理診断、腫瘍循環器・腎臓病学、老年腫瘍学等に習熟した人材を養成
緩和ケア・在宅緩和医療（富山大）、病理診断（金沢医大）
栄養管理・緩和ケア・在宅医療（福井大）

- 医師・歯科医師
- 看護師・多職種
- 医学物理士・放射線技師

がん看護専門看護師養成（長野県看護大）
医学物理士・放射線技師（金沢大）、細胞検査士養成（金沢大）

テーマ②
がん予防の推進

データベース事業で必要性が示されたAYA世代がん患者のケア、高齢者のがん予防等を担う医師、遺伝カウンセラー、サイコオンコロジスト等を養成
次世代がん予防（金沢大）

- 医師・歯科医師
- 看護師・多職種

遺伝カウンセラー（信州大） 遺伝カウンセラー（金沢大）、サイコオンコロジスト養成（金沢大）

テーマ③
新たな治療法開発

新規がん免疫療法や個別化医療開発、副作用対策を担う専門人材、研究者を養成
新規CAR-T開発（信州大）、最適個別化医療（金沢大）
副作用対策・最適個別化医療（金沢大、富山大）

- 医師・歯科医師
- 薬剤師

次世代北信オンコロジージャーセミナー
多施設・多職種連携／チーム医療
大学院生交流セミナー
多職種協働型緩和ケアセミナー

連携体制

患者会

患者目線の医療立案
がんプロ履修者が設立したColors等と連携

金沢大がん進展制御研究所
WPI Nano生命科学研究所

がんの基礎および臨床研究・教育

4県の
全がん拠点
病院・医師会

がんデータベース事業の
継続・発展、
合同市民公開講座

地域内 多職種連携



医師・歯科医師

【強み】核医学診療、地域との協力体制
【強み】認定遺伝カウンセラー養成実績
在宅医療、緩和ケア
地域・施設間格差解消
Webケアマニュアル

看護師・
遺伝カウンセラー・
各種コーディネーター

ベイラー医科大等
国際シンポジウム、
ファカルティ
ディベロップメント
研修、人材交流

がん教育
ゲノム医療
緩和ケア
精神的支援
栄養管理
在宅医療
終末期医療
新規治療開発

薬剤師

【強み】
がん専門薬剤師
養成体制

【強み】
核医学診療科と
連携した人材養成

国立
がん研究センター
連携協定・遺伝子解析
がん研究会化療センター
人材交流

他の
がんプロチーム

東北大、
九州大チーム等
と合同セミナー

学長連絡協議会が進捗管理

〈養成する人材像〉

予防・フォローアップ

〈おもな達成目標〉

診断

治療・ケア

終末期医療

〈本事業のゴール〉

患者の居住地域で診断
から治療・終末期医療
まで、シームレスに
提供できる多施設・
多職種連携医療人材

- 受け入れ目標人数
正規課程 157名
インテンシブ 319名
- がん関連資格取得者 ≥ 50
- 履修者の地域医療機関への
定着割合 50%以上

全てのがん患者と家族が
安心して全医療を居住地域で
速やかに受けることができる
医療を担う人材育成モデル